

市政 TOPICS **市の組織が一部 変わりました**

4月1日から市の組織を一部変更しました。市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

<係の再編>

☑ 障害福祉係⇒障がい者支援係、障がい福祉推進係（地域福祉課）

障がい者基本計画等の策定や虐待など専門的知識が必要とされる困難事例への対応を強化するため、地域福祉課障害福祉係を分割し「障がい者支援係」と「障がい福祉推進係」に再編しました。

☑ 母子係⇒給付支援係、児童育成係（児童家庭課）

第1子の出産に対する応援手当や高校卒業相当までの子ども医療費拡充への対応のほか、入所者が年々増加している放課後児童クラブを安定的に運営するため、児童家庭課母子係を分割し「給付支援係」と「児童育成係」に再編しました。

問合せ先 総務課 ☎ 22 - 8101

市政 TOPICS **門前町にぎわい創出を目指して 神楽広場の供用開始**



▲供用開始した神楽広場（アクアトム向かい側）

4月1日、敦賀市が神楽町1丁目に整備を進めてきた門前町多目的広場(愛称「神楽広場」)の供用が開始されました。神楽広場は、イベント広場と駐車場としての機能を備え、平時は商店街と周辺施設の利用者のための駐車場として開放されます。また、市へ申請することで、イベント会場や移動販売車などの出店場所として利用することができます。今後、中心市街地にぎわい創出と商業・観光の振興につながることを期待されます。

※駐車場として利用できる時間は9時～19時
問合せ先 商工貿易振興課 ☎ 22 - 8122

あなたが写っていたらご連絡ください。写真を差し上げます。
(秘書広報課 ☎ 22 - 8112)



▼工事現場を見学する白木くん



庁舎建設工事を親子で見学

3月25日 敦賀市庁舎建設工事 春休み現場見学会

将来の敦賀を担う子どもたちに新しい敦賀市庁舎への愛着をもってもらうと、建設工事の現場見学会が開かれました。この日参加した親子は、担当者から工事の説明を受けた後、現庁舎5階から、建設機械が新庁舎を支えるための杭を地中に埋める様子を見学しました。見学した白木大翔くんは「建設機械が地面に穴を掘っている姿がかっこよかったです」と笑顔で話しました。



▲ホームページにて庁舎建設の様子を公開しています

▼寄附受領式の様子



レジ袋収益金の寄附を受けました

3月16日 レジ袋有料化による収益金寄附受領式

3月16日、アル・プラザ敦賀、アピタ敦賀店、ハーツつらが店の代表者が敦賀市役所を訪れ、レジ袋収益金目録を市長に手渡しました。3事業者は敦賀市と「敦賀市におけるレジ袋の削減に向けた取組に関する協定」を締結しており、毎年、有料化したレジ袋の収益金の寄附をいただいております。この寄附金は、生ごみから堆肥を作る「ダンボールコンポスト」の普及や、剪定した枝葉から作った堆肥の利用促進などに利用しています。

イキイキ健活!
「私のプラス1」



生活に気軽に取り組める健康習慣を1つ加える「プラス1」運動。毎月、皆さんの「プラス1」を紹介しています。

仲間と楽しく貯筋体操



平成30年からスタートした貯筋体操。講師を招いて月3回実施しています。健康寿命を延ばすためには筋力の維持が大切です。貯筋体操は椅子に座ってできる体操が中心なので、家でも無理なく続けることができます。これからも仲間と一緒に貯筋体操を続けていきたいと思ひます。

皆さんの「プラス1」を紹介しませんか? 詳しくは、健康推進課(☎ 25-5311)までお気軽にお問合せください。

市政 TOPICS **大和田伸也さんがナレーションを担当 水戸烈士の足跡を音声案内**



▲整備した音声ガイダンス設備(写真右・緑色の箱)

3月26日、国指定史跡武田耕雲斎等墓に音声ガイダンス設備を再整備しました。音声ガイダンスは、幕末に尊王攘夷を掲げ、敦賀で悲運の最期を遂げた水戸烈士の足跡を紹介する内容で、敦賀観光特任大使の大和田伸也さんがナレーションを担当しています。音声ガイダンス設備のボタンを押すことで音声流れ、約6分間、史跡の説明や水戸天狗党の歴史、エピソードなどを聞くことができます。

【設置場所】 武田耕雲斎等墓(松島交番近く)
問合せ先 文化振興課 ☎ 22 - 8152

市政 TOPICS **白木と浦底を結ぶ 敦賀半島トンネル開通**



▲開通した敦賀半島トンネル

3月20日、一般県道竹波立石縄間線の敦賀市白木～浦底間の道路整備が完了し、両区間を結ぶ「敦賀半島トンネル」が開通しました。この道路は、原子力発電所の事故発生時の初動対応や事故制圧などを迅速に行うための「原子力災害制圧道路」として、平成24年度から整備が進められたものです。これによって敦賀半島の周遊が可能となり、災害時の安全確保、観光・産業の振興につながることを期待されます。

問合せ先 道路河川課 ☎ 22 - 8136

▼マドレーヌを頬張る児童たち



思いを込めて児童にプレゼント

3月31日 児童クラブへのお菓子無償提供

新型コロナウイルス感染症拡大防止による小中学校の臨時休業の影響で、牛乳の廃棄が増える中、「酪農家応援プロジェクト」の取り組みとして、有限会社 銘菓処 笑福堂が、市内17の児童クラブに牛乳を使ったお菓子を贈りました。専務取締役の小西清彦さんは「子どもたちにおいしいものを食べてもらい、笑顔になってほしい。」と子どもたちへの思いを話しました。配られたマドレーヌを食べた高城まはなさんは「毎日食べたくなるくらいおいしかった。」と笑顔で話しました。